



# あなたの街

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 地区政策課

- 高輪学園剣道部／キリム手織りの会
- 音楽家 細野晴臣さん
- 白金氷川神社
- 町工場の職人たち
- わたしたちの街の身近な公園 港区立高輪森の公園
- お店紹介／白金台プラチナ通りの今昔

7 6 5 4 3 2



「魔法の花」  
庄 博丞



「花のようせい」  
小林 咲慧



「花のバンサンカイ」  
武内 杏

港区立御田小学校 5年生

## さくら・サクラ・桜

いよいよ桜が咲く季節が近づいてきましたね。この季節は入学、入社、転居など人生の節目に重なることも多く、何となく気持ちが高まってきます。

「世の中に たえてさくらの なかりせば 春の心は のどけからまし」という在原業平の歌があります。桜の花見は平安時代から始まったといわれていますが、その頃も桜の季節はわくわく、ドキドキしていたのですね。

わが高輪地区（三田4・5、高輪、白金、白金台）には、桜の名所が数多くあり、楽しみかたもいろいろあります。

ご近所の方や家族の親睦を深めるには、亀塚公園や白金児童遊園（通称：猿町公園）の年月を経た見事な桜を観るのが最高です。町会の花見会も催されています。

仲間とわいわいやるには、グランドプリンス高輪系の3つのホテル（品川、高輪、新高輪）の桜まつりがおすすめです。敷地内には19種類、263本の桜があり、屋外の座敷で食べながら飲むこともできます。プールに浮かぶ桜の花びらも風情があります。

歴史の重みを感じつつ桜をめぐるには、泉岳寺、大信寺、魚籃寺などお寺の境内の桜を観るのがよいでしょう。江戸の町の景色に思いをはせることができます。

ちょっとおしゃれに鑑賞するには、東京都庭園美術館の花見です。アールデコの建物を背景にこぼれるように咲く桜は、一枚の絵のようです。さらに庭園を歩きワシントン市から贈られたサクラなどを観た後、カフェでコーヒというのもおつなものです。

静かな春の情感を味わうには八芳園です。起伏のある庭の池のまわりをゆっくり散策すると、変化する情景の中に桜が見え隠れし、池の水面に映る姿も情緒があります。

ぶらぶら散歩がてら桜を楽しむには、高輪都営アパートから旧高松宮邸の横を通り、高輪地区総合支所に至る道がいいでしょう。都営アパートや高松中学校の連続する桜は見応えがあります。

この街には、桜の名所はまだまだあり、歩きながらここも、あそこも発見していくのも楽しいですね。

桜の木の寿命は、意外と短く50年を過ぎると老化し弱ってくるそうです。高輪地区総合支所では、公園の老化した桜を守っていくために、「さくらリバース高輪」という事業を始めています。まず桜の木の活力を診断し、弱った桜には、活性化するためのいろいろな手段をつくします。街にいつまでもいつまでも、美しく桜が咲き続けるとよいですね。



## 伝統ある武道精神を受け継ぎ、全国に名をとどろかす



### 高輪学園剣道部

インターハイで全国制覇を3度している高輪学園剣道部を訪ねました。

体育館では、30人以上の坊主頭の生徒が剣道着に面をかぶり、竹刀の音も高らかに、床が揺れるほど激しい練習をしていました。

剣道部指導歴30年という甲斐先生からお話を伺いました。先生はがっちりした体格で、穏やかな中にもひきしまった表情が印象的な方でした。

部員は高校生21名、中学生15名の総勢36名で、練習は、午後4時から6時までの毎日と土曜日、日曜日も行います。先



緊迫感ある練習風景

生は土日の練習も指導されるとのことです。

インターハイでの成績は素晴らしく、平成4年準優勝、平成9年、12年、16年に優勝しており、平成20年は3位でした。春の東京都選抜大会には10連覇をしています。

この強さの秘密は卒業した強い先輩たちと稽古ができるからとのことでした。先輩には、全日本3位の米屋選手や大学全日本1位の石田選手などがいます。加えて、甲斐先生の熱心で優れた指導と、長い間培われてきた高輪学園の伝統的な武道精神の賜物ではないでしょうか。

名門高輪学園と試合をするため全国の高校の剣道部が訪れることが多く、また米国やフランスの剣道家も見学にくるそうです。

高校2年生の部長さんからクラブ活動の



平成16年インターハイ優勝

感想をうかがいました。「毎日楽しんで練習していますが、やはり厳しいと感じることもあります。でも、勉強との両立は自信があり、試験の時も休まず練習します。全国各地の学校と対戦するため、遠征が多く、部員をまとめていくのが大変です」と答えてくれました。

先生や生徒さんの取材から、高輪学園剣道部に今でも武道精神が息づいているのを感じて帰途につきました。

## 世界にたった一つだけの自分のキリムを織る



### キリム手織りの会

味わいある色柄が魅力的で、秘かな人気のあるキリムという織物をご存知でしょうか。中近東の遊牧民がテントの中で使う敷物として作り始めたという、羊毛で作られた織物です。そんなキリムを織るサークルが高輪区民センターを拠点に活動しています。

指導するのは、トルコにホームステイをして技術を学んだという佃由紀子先生。「キリムの魅力は、その素朴な柄と織り方です」と佃先生。「キリムは、道



木枠に縦糸をはり、糸の間を指で織っていく

具を用いずに糸を指ですくって織ります。だから木枠と縦糸を叩き込むための櫛さえ準備すれば、だれでも織れるんですよ」という言葉のとおり、準備するのは木枠、木櫛と糸だけで、どなたでも楽しく始められるそうです。

基本となる糸の色は30種類ほどあるそうですが、もっと渋みのあるニュアンスを出したいときには、たまねぎ、コーヒー、紅茶などで染めて、自分だけの色を作ったりすることも。色の組み合わせで反対色をもってきたりと、日本人の私たちの感覚とはちょっと違う色合わせに、新しい発見があるのも楽しみの一つとのことでした。

「さまざまな色を用いて生み出されていく幾何学模様の文様には、それぞれ『魔よけ』や『幸せへの願い』などすべてに意味があり、人々の生活に根付いた思いがこめられているんです」。

こうしてでき上がるキリムは、絨毯としてだけでなく、壁掛けとして飾るとアクセントとなり部屋がパッと明るくなるそうです。

サークルに参加しているみなさんにキリム織りの魅力をたずねると「販売されているキリムはとっても高価。でもそれを自分で作れるのが嬉しいですね」「どんな人が織っても、その人なりの味わいあるものができるのがいいです」「織っているときは、本当に無心になります」とのこと。和気あいあいとした雰囲気の中にも、真剣さが伝わってきました。



色合わせが美しい作品。手前の緑の作品は、毎日30分程度織り約2ヶ月かかったという力作



制作中は真剣そのもの。休憩時間は、ほっと一息ついて次の作品のアイデア交換

世界にたった一つの、あなただけのキリムを織ってみたい方は、「キリム手織りの会」佃先生（電話090-2215-9906／メールkoyun@happy.nifty.jp）まで。活動日は木曜または金曜の午前中、各月2回。



# この街にこの人あり

音楽家 細野 晴臣 さん

うつり変わりの激しい音楽業界の中で、つねに第一線で活躍し、さきごろも新しいアルバムを発表したばかりの細野さん。これまでの音楽界における貢献と業績から、昨年度、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞されました。白金台で生まれ、そして現在もお住まいの細野さんに、子ども時代の思い出や音楽活動についてうかがいました。

## 下町っぽい雰囲気があった白金台

「子ども時代の街の様子はどんな感じだったのでしょうか」  
 生まれたのは白金台です。白金幼稚園、白金小学校（以下「白小」と）地元小学校に通いました。

当時は、今みたいに外苑西通りがプーチン通りなんておしゃれな名前が呼ばれてなくて、ごく普通の街でしたよ。目黒通りの商店街がイキイキしていて、むしろ下町っぽい雰囲気がありましたね。自然教育園の一角に、かつて軍の火薬を保管していた火薬庫とよばれる場所があって、そこには捨て猫や野良猫なんかがたくさんいて、暗くて危ないから気をつけると言われていたり。とにかく、いたるところに空き地や遊び場があって、原っぱでたこあげや野球をやったりしました。

親戚もこのあたりにずっと住んでいます。お産婆をやっていた叔母は、外苑西通り沿いに住んでいました。今は閉じてしまっただけ以前、ラーメン屋があったところです。敷地内には、一



本の大きくて立派なイチヨウの木がありました。でもあるとき、それが切られることになってしまったんですね。僕は、それがとてもショックだった。そしたら切ってからしばらくして、ちょうどその目の前に新しく植えられたばかりのイチヨウ並木の中の本一本、切られた木の前にあったイチヨウだけが枯れたんですね。イチヨウは雄株と雌株があるでしょ、きつと夫婦だったんですよ。

## サザエさんの漫画のようなどかな子ども時代

「小学生のころはどんなお子さんだったのでしょうか」  
 当時の白小の校舎は八十年前に建てられた石造りの立派なものでした。それが先生方にとっても僕ら生徒にとっても自慢でした。それから白小は、何でもとり入れるのが早かった。プールも都内で一番早くできたんじゃないかな。

僕のとときは、ちょうど子どもの数が増えてきたころだったこともあって、一クラス六十人で八クラスもあって、です。すし詰め教室、なんて呼ばれてた。ですから、朝組、昼組と二部制に分けていたんです。

小学生の僕は、おとなしくもなくやんちゃでもなく普通の子でした。でも、ふざけることが好きで、先生に「お調子もの」と呼ばれてました。ある日、転校生がクラスに入ってきて、先生と一緒に遊ぶように言われたから、「遊ぼうよ」と声をかけたら、「僕は不良とは遊ばない」と言われた（笑）。印象に残っているなあ、あの言葉。

とにかく小学生のころは、漫画本のサザエさんのようなのんびりした世界。どこの家庭もそんな感じでした。NHKの番組『ようこそ先輩』に出て、白小で教えたとき、子どもたちがいい子だったんでびっくりしました（細野さんは、平成十二年十月の番組に出演し「耳をすませ！ 街は音のワンダーランド」というテーマで授業をされました）。



白金台・外苑西通り近くにある細野さんの音楽スタジオで

「の原作者」がいて、こんなうまい人間がいるんだ、じゃあ、あきらめようと思った。彼と出会っていなければ漫画家になっていたかもしれない。

僕が高校生のとき、音楽の世界では大きなうねりがあったんです。ポプ・ディランやピーター・ポール＆マリーなんかがでてきた。ものすごく影響をうけました。その後、シンセサイザーを使った富田勲さんの音楽にもとても影響をうけました。

YMOのときは、とにかく忙しかったですね。でも最初は誰も聴いてくれなかったんです。レコード会社の人たちも耳にしたことがなくて、よく分からない音楽なもんだから、のり気じゃない。でもアメリカのレコード会社の若い人たちの間では反応がよかった。それで、これはいけるんじゃないかと思ってくれたみたい。日本ではウケなくても、世界中にマニアがいる。誰もかれもが好きになってくれる人もいい、ものすごく好きになってくれる人がいればそれでいい、僕たちもそう思っています。実際、自分たちがそういう人間だったし（笑）。

「まだまだこれから。六十歳となって、さらに深化し続けたい」  
 平成十九年度の芸術選奨文部科学大臣賞を受賞されました。また本の執筆、映画音楽を手がけるなど多方面で活躍されています。

（照れながら）えーと、はい、いただきます。「音楽部門」じゃなくて「大衆芸能部門」でいただいたのが嬉しかったですね。

（映画音楽をつくったり本を書いたことは）特に今までも考えてやってき

たわけではないんです。言われたものを受け入れてやってきたら、そうだったという。ただ、音楽だけは、新鮮なものをつくっていききたい、一生懸命やりたいたいと思っている。

最初のロック世代であるビートルズ、ローリング・ストーンズも歳をとってきたなあ、という感じがします。でも、歳をとることによってできることが幅広くなったし、深化しているというのか。僕自身もそんな気がします。この先もずっと自分の中にあるロマンティックな思いを表現していきたいですね。世阿弥も、六十歳からだと言っているから、まだまだこれからです。

## 柔軟に、固まらず、人に翻弄されないことが大切

「若い人へのメッセージをお願いします」  
 ニュースをみると世の中、なんかささんでるなと感じるんですけど、ひとり一人と接していると決してそんなことはない、しっかりしてるなと思う。

これからの社会はなかなか大変です。何かあったときに自分で自分を助けていかなくてはいいけない。本当の危機の中では、そうでしか生きていけません。でも、そんな危機に直面したときに、大人の考えに翻弄されすぎないためにも、もっと柔軟に、もつと遊んだ方がいいと思います。あまりかたく固まらない方がいいかな。

## 前号の記事に反響がありました！

### こけしが日米の文化交流の架け橋に



寄贈したこけしを前に 武田さんとイツカさん

情報紙7号「この街にこの人あり」でこけしを通して日米の文化交流を育むイツカ・スターンさんの記事を読んだ港区三田4丁目在住の武田菊夫さんが、その情熱に感動し、ご自身が所有するこけし30本を寄贈されました。武田さんのあたたかい申し出に、イツカさんは感謝の気持ちでいっぱいとのことでした。またひとつ、こけしを通して日本と米国との架け橋ができましたね。

**細野 晴臣さん** ●ミュージシャン・音楽プロデューサー。多摩美術大学美術学部芸術学科客員教授。1947年、白金台生まれ。立教大学在学中に「エイプリル・フル」でデビュー。その後、「はっぴいえんど」「キャラメル・ママ」「ティン・パン・アレー」を結成。1978年、高橋幸宏氏、坂本龍一氏とYMO（イエロー・マジック・オーケストラ）を結成。シンセサイザーやコンピューターを駆使した音楽で、日本にテクノポップの一大ブームを起こす。映画音楽や本の執筆も手がける。平成十九年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。



歴史を読む

# 白金氷川神社



住所：港区白金 2-1-7

わたしたちにとって身近な存在である神社は、全国に約八万社もあり、どの神社も長い歴史があります。港区にも、多くの神社がありますが、今回は、その中でも古いといわれている白金氷川神社を取りあげました。

氷川神社も、港区には麻布、赤坂、白金と三社あるのをご存知でしたか。どの氷川神社も、同じ神様を祀っています。

白金氷川神社は、白金二丁目の小高い場所にあります。鳥居のある階段を上ると、広場があり、樹林を背後に、中央に神社、右側に社務所、左側に手水舎があります。広場には、なにか神聖な気配が感じられます。

社務所に寄り、宮司の井出正典さんからお話をおうかがいしました。



昭和6、7年頃の子ども会（敬神早起会）の様子。戦前の権現造の神社

## 神社の成り立ち

白金氷川神社は、今から約一千三百四十年前（白鳳年間）に、白金島の総鎮守の氏神様として建立されました。白鳳年間といえ、奈良時代より前の飛鳥時代に当たる頃で、随分古いですね。

氷川神社の総本社は、埼玉県さいたま市大宮区高鼻町にあります。日本武尊が東征したとき、白金の丘から大宮の氷川神社の方向を望み、お祈りしたと伝えられます。日本武尊は無事、東国を平定することができ、お祈りをした場所が白金氷川神社となりました。

白金氷川神社は、麻布、赤坂、渋谷、西大崎、下落合、上目黒とともに、江戸の七大氷川神社のひとつでした。

神社は、一七七二年の明和の大火災で焼失しましたが、一八五二年、大規模な権現づくりで銅葺きの拝殿が再建されました。当時としては、立派な建物であったようです。しかし、第二次世界大戦により、再び焼失し、昭和三十三年に現在の建物が建立されました。戦前は、神社が地域のコミュニティの中心となってお



平成 21 年元旦初詣のにぎわい

## 祀られている氏神様

素戔嗚尊、日本武尊、櫛稲田姫尊の三神を祀っています。

開運、厄除、身体健康、災禍消除、家内安全、商売繁盛、病氣平癒、交通安全の御利益があるそうです。

さらに、境内には、いくつかの神社があります。氷川神社の右側には、きつねがお守りする稲荷神社、衣食住の神様である宇迦之御魂大神、左側には、吉野朝の諸忠臣を祀る建武神社があります。

## お祭りや行事

氏子の区域は白金、白金台の二十町会に、またがります。

毎年、九月に大祭式が行われます。この日にはおはやしが演じられます。

九月の第二・第三の土曜日、日曜日には、町内を大きな神輿や山車がねり歩きます。

神社は、地域の人々の守り神として、初詣、お宮参り、七五三祝、成人祝、結婚式、銀婚式、金婚式など、人生の儀式的場として、今でも大活躍しています。

これからもずっと、地域の人々を見守ってほしいですね。

り、いろいろな地域の行事が行われました。

## 神社マメ知識

昔から各地にはその土地や住民を見守る神社があります。  
「初詣はまず氏神様から」という言葉がありますが、氏神様とは自分の生まれた所の神社の神様のことで、私たちはその氏子ということでしょうか。白金氷川神社の宮司さんにお伺いしたところ、引越などした時は引越先の神社に「よろしくお願ひします」とお参りすると良いそうです。ちなみに生まれた地域の神様も、もちろん一生見守ってくださるそうです。



江戸名所図絵「白金氷川神社周辺」 港区立港郷土資料館蔵



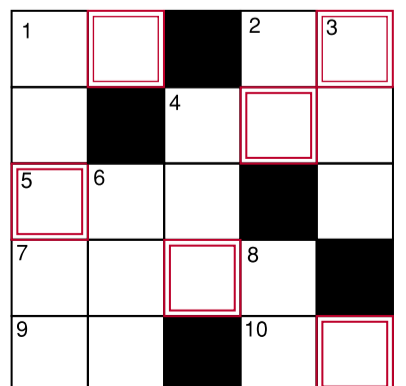
昭和 12 年神幸祭。馬にのった子どもが今の宮司

# クロスワードパズル 高輪縦横無尽

【出題科目】 地理・歴史・理科・地域情報紙

難易度：★★★★

町人度：★★★★



### 縦の鍵

- 1 白金氷川神社の氏神様の一柱、○○○○○姫尊
- 2 神社は八万、神様は○○よろず
- 3 結末はやっぱり「はっぴい○○○」
- 4 遊牧民によるウールの伝統織物トルコ語で「平織り」のこと
- 6 端午の節句に食べる風習があります
- 8 「星うつりても名は光る○○の徳」【7号】

### 横の鍵

- 1 八芳園から明治学院まで下る、○○原坂【3号】
- 2 ちょっと遅めの○○ザクラ
- 4 白金の電気抵抗を利用した計器で○○○の測定
- 5 ○○○=36町=3.927km
- 7 島津久光一行が高輪の下屋敷から京に向う道中、英国人4人を殺傷した○○○事件
- 9 ナマケごころ。やる気じゃなくて○○満々
- 10 地域密着型ジャズビッグバンド「高輪○○サイド・ブリーズ」【7号】



# 町工場の職人たら 次世代を担う 若きクリエイターたちの今



俵藤さん親子のデザインしたアクリル樹脂製の照明。細かい穴のあいた32面体からこぼれる灯りが独特の陰影をつくる人気の品

明治から昭和にかけて、町工場が多く集まるまちとして発展し、多くの職人たちで活気づいていた白金高輪地区。しかし、経済状況や産業構造など時代の変化とともに、現在では当時のままの工場も数少なくなっています。

ところが、最近になって、この地域に工業デザイナー、建築家、カメラマンなどの若きクリエイターたちが増えてきています。親の世代からの工場を受け継ぎ新たな視点で仕事を展開している人、このまちの雰囲気ひかれてわざわざ拠点を移してきた人。形は変われども、職人の魂は、新たな世代に受け継がれているようです。

そんな若い世代の一人、親の代からのアクリル加工技術を新たな形で発展させ、オリジナリティあふれるデザインと企画力で果敢にモノづくりに挑んでいる俵藤ひでとさんに、仕事のこと、そしてこの地域の現在について伺ってみました。

## もともとは継ぐ気なかった父の仕事

—この工場は、お父様が始められたのですか？

はい、父が、昭和57年にアクリル加工・電飾看板製作の工場をここで始めたのです。僕も工場に出入りして、親父の仕事を見て育ちました。よく親父の真似をして、アクリルでペーパーナイフや



昔のままの姿の工場から新しいデザインがうみ出される

箱を作ったり、小さい車やスキー板とかのキーホルダーを作ったりしていました。生活とモノづくりが密着していましたね。

—では、子供のころから跡を継ごうと思っていたのですか？

いいえ、生活の安定したサラリーマンになりたいと思っていました（笑）。でも、いざ進路を決めるといふときになって、絵を描いたり、何かを作ったりすることが好きだと気づき、デザインの専門学校に行きました。卒業して企業のデザイン部門に就職したのですが、だんだんとデザインだけでは物足りなくなって、自分の手でモノをつくりたいという思いが強くなっていったんですね。それで会社を辞めてしまっ

—それで、この工場に戻ったのですか？

いえ、放浪の旅に出ました（笑）。あてもなく世界中を旅しましたね。いろんな人々と出会って、それに、時間だけはたっぷりありましたから、いろんなことを考えました。人と違うことは悪いことではないこと、人とのつながりの大切さ、それから日本はいい国だなと、あらためて思いました。

2年ほどで日本に帰りました。不動産市況が活発になり看板の注文が増え、親父の工場が忙しくなってきた頃でした。そこで僕も手伝うことにしたのです。

## 自分なりの仕事のやり方を模索

—実際に現場で仕事をして、どんなことを感じましたか？

こういう町工場は、いわゆる下請けで、社会的立場としては弱者なんですね。東京は家賃や人件費も高いから価格競争では不利です。好景気の裏で、そのしわ寄せに苦労していました。後継者もなく閉鎖する工場もありました。

そんな現実を目の当たりにして、どうしたらみんながハッピーになれるだろうか、モノづくりが魅力的な仕事になるだろうか、東京でモノをつくる意味はどこにあるだろうか、そんなことを考えるようになりました。

—その問題意識は、どのようにして解決したのですか？

いろいろ模索する中で、僕にしかできないモノ、自分の作品をつくり始めました。下請けの加工だけでなく、企画、デザイン、製作、営業もするようになりました。自らモノづくりの面白さを発信し提案するために、展示会も開きました。業界内だけでなく、異業種の人たちとつながり、世間の人たちを味方につけていく、それが様々な人や業種、情報の集まる東京でモノづくりをする意味だろうと思ったのです。

そして、こういう活動を組織として行うために、6年前の30歳の頃、友人と2人で『デリバリーワークス』という会社を設立しました。また、4年前には、仲間6人で日本の製造業を応援する団体『現代手工業乃党』というNPO法人を立ち上げました。今では地方も含めて12の会社が参加しています。僕の役割は、デザイナー、職人、プロ

デューサー、ディレクターといったものです。他に、美大の講師から看板の現場取り付けまでやっています（笑）。

—いろいろな可能性がありそうですね。今後の展開は？

時代の変化とともに、僕も、そして仕事の内容も変わってきました。これからもたくさんの人たちと出会いながら、いろいろな形で、モノづくりのよさ、楽しさをアピールしていきたいと思っています。

でも、この工場を離れようとは思いません。これからも、親父と一緒に、ここでやっていきたいと思っています。

## 若い才能が集まる白金

—この地域には、俵藤さんのような若い方が増えているそうですね？

この辺りもゆるやかに変わってきましたが、相変わらず工場や商店があって、生活と仕事が近くて、人と人とのつながりが濃いんですね。親父の代からの付き合いもありますが、新たにここに拠点を移してくる若いクリエイターが増えていて、交流も活発です。古い倉庫を改造してオフィスにしたり、路地裏の縁台で一服しながら仕事の相談をしたり、昔ながらのまちの良さを、新しい感性で生かしている感じです。



左から、俵藤さんのお父さん、俵藤さん、若きクリエイター仲間の内装デザイナーの長谷川さん。長谷川さんは2年前に事務所を白金に移した。どこにでもアクセスしやすい一方、下町の雰囲気のあるこの地域が気に入っているそう

## 取材を終えて

古い木造住宅を改造した俵藤さんの町工場。その居心地の良さについて長居をして、お父様も交えての町談義を始めてしまいました。まちづくりやモノづくりの将来のことから、安くておいしいお店情報まで、話は尽きません。お父様は、息子さんがいなかったら「いまごろ白金にはいなかった」そうです。「息子は、ただ僕の跡を継いだのではなく、新しいものを創ってくれたんだよ、だからこの工場を残せたと思うよ」。この言葉がとても印象的でした。

『現代手工業乃党』ホームページ：  
<http://www.modern-mp.com>



# わたしたちの街の身近な公園 港区立高輪森の公園

高輪地区の中で、自然の地形や植生をそのまま生かした公園があります。

グランドプリンスホテル新高輪とホテルパシフィック東京の間にある区立「高輪森の公園」(旧「森の遊び場」)です。

公園所在地 港区高輪3-13-21



この公園の敷地は、17世紀には薩摩藩島津家の下屋敷の一部でした。明治に入ってから、後藤象二郎のお屋敷の一部になり、その後朝香宮邸、竹田宮邸敷地の一部になりました。(その後朝香宮邸から、東久邇宮邸になりました。) 第2次大戦後、宮内庁、大蔵省の管理となり使われていませんでしたが、昭和50年から「森の遊び場」として、一般に開放されるようになりました。平成18年には、港区が国から用地を取得し

「高輪森の公園」として開園しました。

面積は約6400㎡と高輪地区では比較的広い公園です。平坦な部分は少なく、ほとんどが斜面となっています。現在、開園時間は5月から9月までの期間が朝7時から午後6時、10月から4月までが朝7時から午後4時半と限られた利用となっています。

地形や植生の特徴などにより、4地区に分けて見てみましょう。



## 1 アズマネザサ密集地

比較的平坦で、樹木は少なくアズマネザサが密集しています。昔、品川の海を望んだ四阿<sup>あずまや</sup>があったと思われます。



## 2 常緑・落葉広葉樹混交林で緩い斜面地

やや傾斜の緩い斜面で、常緑広葉樹と落葉広葉樹の混ざった林となっています。一部アズマネザサが生育しているところがあります。

## 3 常緑・落葉広葉樹混交林で急傾斜地

全体が急傾斜地になっており、樹高の高い常緑広葉樹と落葉広葉樹が混ざった林で、イギリス、アカメガシワ、スダジイなどが見られます。急斜面のため、樹木の下に植物が少なく、土が露出している部分が目立ちます。



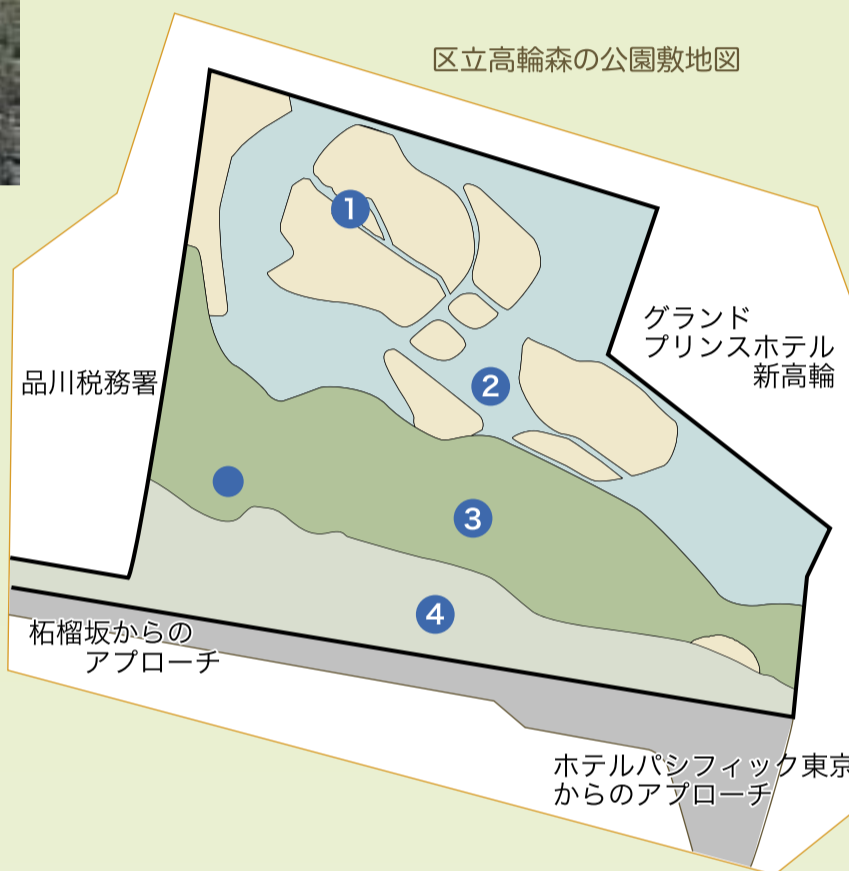
## ● 滝や池の岩組み

昔の庭園の滝や池があったと思われる岩組が残っています。



## 4 公園植栽地

敷地の中では最も低い平坦な部分で、ベンチや遊具が置かれています。



▲江戸時代は薩摩藩のお屋敷の一部だった森の公園  
江戸切絵図:港区立港郷土資料館蔵



さくらざか  
柘榴坂からのアプローチ  
両側が塀でやや殺風景

—参考資料：高輪森の公園現況植生等調査委託報告書—

## 東禅寺 緑のコンサート

高輪3丁目にある東禅寺で、平成20年10月25日、26日に緑のコンサートが開催されました。このコンサートは、「緑の自然環境を大切にしましょう」という趣旨を広めようということから毎年開催されているもので、東禅寺は、このメッセージの通り自然環境を大切に守り、素敵な広い庭園を維持しています。



東禅寺本堂にて

10月25日は、田野倉雅秋さん(ヴァイオリン)、日下知奈さん(ピアノ)によるヴァイオリン・コンサートで、「ツィゴイネルワイゼン」など数々の名曲が演奏されました。10月26日は声楽コンサートで日向由子さん、秋本健さん、大石啓さんが出演し、童謡や歌曲を観客と一緒に歌う場面もありました。

コンサートの後は、お茶とお菓子を味わいながらの出演者との歓談、庭園の鑑賞などがあり、盛り沢山の心温まる一日でした。

## 今後の整備について

平成22年度から、地域の方々のご意見を聞きながら、公園の計画づくりを進めるそうです。もちろん、自然の地形、植生、歴史ある岩組みなどはそのまま生かしてもらいたと思います。歩きやすい園路や四阿、手すりなどの施設整備、草や花を植栽するなど、公園として一層充実させることが考えられるのではないのでしょうか。

子どもたちが、自然の中で、斜面を登ったり下ったり楽しめる公園になるとよいですね。



## 港区商店グランプリで高輪地区から2店舗が受賞しました

平成20年度港区商店グランプリで高輪地区（三田4・5、高輪、白金、白金台）から選ばれた二つのお店をご紹介します。

### 世界各国のコーヒー豆が手に入る **COFFEE ROAST SAI**

港区議会議長賞を獲得したのは、メリーロード高輪（旧二本榎通り）に3年前にオープンしたコーヒー豆専門店SAI。オーナーの齋さんご夫妻が焙煎から豆挽きまですべてを行っており、直火で焙煎するのがこの店の特徴です。一見、喫茶店に見間違えそうな外観ですが、中に入ると、なんと世界各国の30種類以上の生豆がずらり。コーヒー豆を買い焙煎を待つ間、サービスでコーヒーが出されるのも魅力の一つです。

お客さんは地域の常連の方が中心ですが、コーヒーの味にこだわる舌の肥えた方やリピーターが多いそう。サラリーマンだった齋さんがお店を始めたきっかけは、元来のコーヒー好きが高じ、地元で上質なコーヒー豆専門店を開きたいと思ったからとのこと。齋さんが東海大付属高輪台高校出身だったことから、なじみのあるメリーロード高輪に開店しましたが、それでも最初はお客様が来てくださるかどうかが不安だったそうです。不定期ですが、コーヒーについて学べるコーヒー教室が開かれることもあるそうで、まさにコーヒー愛好家のためのお店ですね。



◀直火焙煎をするオーナーの齋さん

住所 港区高輪1丁目21-3  
(定休日:火曜日、水曜日)  
電話 03-3449-7007

### 家庭のあたたかさが伝わる **BARBER かわむら**

東京商工会議所港支部会長賞を受賞したのが、白金タワー1階のBARBERかわむら。

足を踏み入れた瞬間に感じた、アットホームで清潔な雰囲気。それもそのはず、このお店、ご主人の河村さん夫妻、美人のお嬢さん2人の4人で切り盛りしている文字通り家族経営の理髪店なのです。お聞きすると、なんと明治32年（1899年）創業の老舗とのこと。ご主人の河村さんは、お父様の時代に修行を始めて52年、店は3年前に現在の場所に移りました。外資系企業も多い地域の特性から、最近では外国人のお客さまもみえることがあるそうです。奥には、お嬢さんの意見で備え付けられた女性専用の個室もあり、そこでシェービング（3000円）やエステも受けられます。男性客だけではなく、女性客もまた足を運びたくなるようなお店です。



▶アットホームで洗練されたお店です

住所 港区白金1丁目17-1  
白金タワー1階  
(定休日:毎週月曜日、  
第2・第3火曜日)  
電話 03-3442-6705

※港区商店グランプリは、「港区」「港区商店街連合会」「港区商店街振興組合連合会」「東京電力株式会社銀座支社」の主催により実施されています。

### ちょっと一息 街の情報コーナー

## 白金台： プラチナ通りの今昔

おしゃれな店の立ち並ぶ外苑西通り（通称：プラチナ通り）も、以前はこんなに素朴な通りだったんですね。目黒通りには都電も走っていました。

今は見上げるように高くのびたイチョウの木が、当時の街の変遷を物語っています。



◀昭和37年ごろ



▶現在

(写真提供：白金台「フォトファンシティ」の松木一郎さん)

### 街の情報を お寄せ下さい!

高輪地区情報紙では、みなさんからの街の情報をお待ちしています！ ちょっと見かけたおもしろいもの、ほっとするような話題などなど、どうぞお寄せください。



### 高輪発



- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 鶏もも肉            | 約400g (4枚に切り分ける) |
| ベーコン厚切り         | 80g 5mm位のさいの目切り  |
| グリーンピース (冷凍でも可) | 150g             |
| サラダ菜 (レタスでも可)   | 2株 あらく千切り        |
| 小玉ねぎ            | 12ヶ              |
| バター 大さじ1        | 砂糖 小さじ1          |
| 水 1/2カップ        | 塩・こしょう 少々        |

三村真喜子さん ● 高輪で30年以上、フランス料理教室トゥロワ・ヴィラージュを主宰。フランスの国立ホテル学校に留学し、ホームステイをしながら、フランス料理を学ぶ。フランス料理を基礎からしっかり学んだ経験を生かし、日本人に無理なく作れる本格レシピを紹介している。



## Poulet a la Clamart (プーレ・ア・ラ・クラマー※) 鶏肉とグリーンピースの煮込み

### 作り方

- 1 厚手の鍋にバターを手で塗り、サラダ菜を敷く。
- 2 その上に小玉ねぎ、ベーコン、グリーンピースを順に置く。
- 3 塩・こしょう、砂糖をふりかけ、水1/2カップを加えて蓋をする。
- 4 ごく弱火にかけ、湯気が立つまで煮る。
- 5 その間にフライパンにバター大さじ1をとかし、鶏肉の皮から先に両面色づけて焼き、塩こしょうをする。
- 6 これをグリーンピース等の上に置き、バターの残りを小さくちぎって所々にのせる。
- 7 蓋をして、更に25〜30分弱火でゆっくり煮る。

### ●ワンポイント・アドバイス

- ・必ず厚手の鍋を使って、材料を煮込みましょう。
- ・普通の玉ねぎを使う場合は、芯をつけて大きめのくし切りにしましょう。

※クラマーはフランスの地名で、グリーンピースの産地です。





## —安全と安心は冷蔵庫の中から— 「救急医療情報キット」を活用しよう!!

港区では、安全と安心を守る取り組みとして「救急医療情報キット」を配布しています。このキットは、救急時に必要な「かかりつけ医療機関」「服薬内容」「持病」などの情報を中心に、自宅の冷蔵庫に保管するものです。救急時(119番出動)に、本人等が病状などを説明することができない場合、救急隊が保管された情報をもとに、迅速な救急活動に役立てます。キットはお申込された人に無料で配布します。



### ＜申込・配布対象の要件＞

港区に在住している次の人

- ① 65歳以上の人
- ② 障害のある人
- ③ 健康上、不安を抱えている人
- ※ 上記の人以外でも、希望される方全員に配布します。

### ＜申込・配布場所＞

- 1 各地区総合支所保健福祉係
- 2 福祉会館・健康福祉館
- 3 各地区包括支援センター (65歳以上の人のみ)



### ＜問い合わせ＞

高輪地区総合支所  
くらし応援課 保健福祉係  
電話 5421-7085

## 白金台福祉会館の証明書自動交付機をご利用ください

証明書自動交付機は、銀行等のATM(現金自動預払機)と同じように、カードを入れて暗証番号を入力することで証明書を簡単に受け取ることができる機械です。高輪地区内では、総合支所のほか平成20年10月から白金台福祉会館(白金台4-8-5)でも証明書自動交付機が利用できるようになりました。ぜひご利用ください。

なお、ご利用には、「自動交付機カード」が必要です。(カードの作成は各総合支所で手続きしてください。)

### ■ 発行できる証明書

証明書の種類	自動交付機の手数料
住民票(本人及び世帯員) ※現在、住民登録がある人が対象	250円
印鑑登録証明書(本人のみ) ※印鑑登録をしている人が対象	
戸籍(全部・個人)事項証明書 ※港区に住民登録と本籍がある人の現在戸籍が対象	400円
外国人の記載事項証明書(個人のみ) ※現在、外国人登録している人が対象	250円

※1万円・5千円・2千円札、及び5円・1円硬貨は使用できません。

### ■ 利用時間

月曜～金曜 午前8時30分～午後9時  
土曜・日曜 午前9時～午後5時

※祝日(土曜・日曜にあたる日は利用できません)と年末年始(12月29日～1月3日)、施設点検日は休止します。

### ■ 問い合わせ

高輪地区総合支所 くらし応援課 窓口サービス係  
電話 5421-7612

## 『タウンミーティングTAKANAWA』のメンバーを募集します

高輪地区総合支所では、地域のみなさんと身近な地域情報を共有し、高輪地区(三田4・5丁目、高輪、白金、白金台)の課題や魅力について考え、話し合いさらに地域の魅力アップのための事業の実施や地域情報紙の制作など、知識とアイデアを活かして一緒に活動して下さるメンバーを募集します。

※各グループの会議の開催は原則として平日夜間月1回程度です。②については、取材等昼間の活動もあります。

※交通費や日当の支給はありません。

1 対象者 高輪地区に在住、在勤、在学の人

2 内容

- ①高輪地区政策検討グループ  
区民参画による地区の課題などの検討
- ②地域情報紙編集・発行グループ  
高輪地区に存在する史跡、穴場情報、地域で活動する団体活動の情報など、さまざまな高輪地区の情報を収集し、地域に密着したコミュニティ情報紙を制作

3 期間 1年間(平成21年4月～平成22年3月)

4 募集人員 ①30名程度 ②15名程度  
(応募状況により希望にそえない場合があります。)

5 申し込み 住所、氏名、電話番号、希望するグループを電話、FAXまたは郵送で下記にお申し込みください。

6 締め切り 平成21年3月23日(月)

### 【申し込み・問い合わせ】

〒108-8581 港区高輪1-16-25 電話 5421-7123  
高輪地区総合支所 地区政策課 FAX 5421-7626

## メールによる区民意向調査を実施しました

高輪地区総合支所では、高輪地区総合支所管内にお住まいの区民を対象にインターネット調査を実施しました。調査結果をまとめた報告書は、港区ポータルサイト高輪地区総合支所のお知らせ、または地区政策課の窓口にてご覧になれます。

- 目的 高輪地区総合支所が実施している事業等に対する認知度及び利用に関する要望を把握する。
- 調査対象 高輪地区総合支所管内(三田4・5丁目、高輪、白金、白金台)在住の15歳以上の男女
- 調査方法 Webアンケート調査
- モニター数 約500人

### ■調査項目

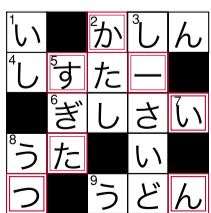
- ▶第1回調査項目 <平成20年9月実施>  
町会・自治会活動について、地域で行われる行事や催し物についてなど6項目
- ▶第2回調査項目 <平成20年10月実施>  
生活・安全環境美化活動推進協議会について、災害時の備え(備蓄)についてなど7項目
- ▶第3回調査項目 <平成20年12月実施>  
ごみの分別回収について、公園等の維持についてなど5項目

### ＜問い合わせ＞

高輪地区総合支所  
地区政策課 区民の声担当 電話 5421-7124

前号  
クロスワード  
パズルの答

いつかすたーん



安藤 洋一  
安達 貢  
安藤 まりえ  
大場 由里  
斉藤 亜由美  
森安 雪子  
安 勢津子  
渡邊 義信  
山崎 悦子  
松島 佐紀子  
河村 保弘  
生田 優子  
中嶋 路子

七号は、あっという間に品切れになってしまったとのこと。この情報紙も少しずつ地域に浸透してきたかなあと感じております。地域の方のこけしの寄贈もうれしいニュースでした。(洋)

町工場の取材では、ご近所グルメ情報をたくさん教えて頂きました。でも、某菓子屋さんの幻(?)のカステラは、いまだ入手できません(笑)。(垂)

編集ボランティアに参加して半年余り。勤務先から駆けつけるのは大変なのですが、和気あいあいとしたメンバーとの会議は私の楽しみとなっています。(雪)

地域の歴史や文化の豊富さ、知るほどに楽しくなります。昨年からメンバー参加ですが、人材の豊かさにも感心、日々楽しく勉強させてもらっています。(悦)

七号の「町工場の発明家たち」の記事でお知らせしたように、地域で発明特許研究会を発足したいと考えております。(義)

## 編集だより

